

# 『ザ・本とインターネット』 ソーシャル読書セミナー 第3回

2010年12月10日

@ドコモスマートフォンラウンジ

データセクション株式会社 橋本大也

# 講師プロフィール

## 橋本大也

- データセクション(株) 取締役会長
  - ブログやツイッターのクチコミ分析会社です
  -
- (株)早稲田情報技術研究所 取締役
- (株)メタキャスト 取締役
- (株)日本技芸 取締役
- デジタルハリウッド大学 教授
  - 授業「リサーチ&プランニング」
- 多摩大学 大学院 経営情報学科 客員教授

# ブログについて

## 情報考学

### Passion For The Future

- <http://www.ringolab.com/note/daiya/>
- 2003年9月に開始
- 書評、ソフトウェア評、IT業界論など2600本。
- 書評は1600冊超
- NHK「クローズアップ現代」新聞、雑誌、ラジオで紹介されアクセス増える



## 情報考学

橋本大也

Passion For The Future

WEB時代の羅針盤

213

冊

<http://www.access.or.jp>

アクセス向上委員会  
橋本大也

アクセスを  
増やす  
ホームページ  
革命術

MYC@M



二西本詩撮影

# 読んで書いてより深く

プログラー・橋本大也さんに聞く

大学在学中の90年代半ばにITビジネスを始め、日本のインターネット業界の草創期から活躍している橋本さん。コンサルティング会社「データセクション」会長として多忙な毎日を送る一方、03年9月からブログ「情報者」でも書くのも大好き。「本なら

モチアルトや、ペーターベンの音楽とも全く無縁、おおよそ文化的というには程遠い子ども時代を送ってきました。建築の道を進もうと考えたのは10代の終わりのころで、まずはどのようなことを勉強すべきかと、関西近郊の大学をのぞきに行ったのですが、講義内容が全然わからない。文化的知識量が全く足りてい



いでも本を読みはじめましたが既に手遅れの状態で、長年文化的な生活に慣れ親しんできた人たちには追いつきようもない。彼らは本当に豊かな子ども時代を送ったのだなとつくづく羨ましく思いました。私といえば、世が文化的知識を吸収していた幼少期に、魚を釣ったりトンボをとったり、ソフトボールをしたり紙

など、生きていく上で最も大切なことを学ぶことはできましたが、いわゆる文化的素養を育む機会はありませんでした。中学2年のころ、生まれ育った長屋の2階を増築した時に、一心不乱に働く大工さんを見て、建築という職業に強い興味を覚えました。こま

るに似た大工さんの姿が忘れられず、独学でも建築の道を進もうと決心し、周りの人たちに少しでも追いつこうと、そこから必死で本を読み始めます。将来に何の保証もなく、不安で一杯のスタートでした。しかしそんな私の決意を固めるきっかけとなったのが、このこ

いからでも買ってもらえたので、書店によく通った。ブログを始めてさらに読書熱が高まり、年間約500冊を手に入れ、約300冊を読破。200冊程度を評している。通勤に片道約1時間20分かかると、電車内と帰宅前とで1日ほぼ1冊読めるという。多忙な中、書評の執筆時間

を確保するのは大変なのは？「全く勉強書かないと損をした気分になると話す。「読書の楽しみの一つは自分の内面が整理されていく感じがすること。ただ言葉にしないうまく終わると、感じているんだけど理解できないところでもわかる気がするんです」

だと気付かされましだから、子どもが書くことは大切だと感じる。「当時は『やらされる』感じで、何を書ぶのか分かりませんでした。なら、他人にその本を読んでもらえるようにこの本の何がいいのかを明らかにする前提で読むと、橋本さんが本の魅

はしもと・たいや、1970年生まれ。プログラー、データセクション会長。早稲田大在学中にインターネットの可能性に目覚め、IT系ベンチャー企業を創業。主な著書に「情報力」「情報者」W E日時代の確証2・3冊など。デジタルハリウッド大准教授、多摩大大学院客員教授も務めている。

著者や編集者が感想を寄せることも。ある大学教授の本を紹介したところ、その教授に招かれ、講義を担当することになった。「アウトプット(書くこと)とインプット(読むこと)が互いにいい影響を与え合う循環が始まった。インプットだけだと発展性がな

い。そのバランスが大切な冊べら」。そんな

個人がブログなどに載せた書評を、多くの人が本を選ぶ参考に使っている。本の売れ行きに影響を与えることもあるという「ネット書評家」。出版社も注目する彼らの実力を探ってみた。

### 本の売れ行き左右する人も

主なネット書評	
ブログ・メルマガ名	ジャンル
404 Blog Not Found ( <a href="http://blog.livedoor.jp/dankogai/">http://blog.livedoor.jp/dankogai/</a> )	人文、科学、社会など
俺と100冊の成功本 ( <a href="http://blog.zikokeihatu.com/">http://blog.zikokeihatu.com/</a> )	自己啓発書
浅沼ヒロシの書評ブログ 晴読雨読日記 ( <a href="http://d.hatena.ne.jp/pyon3/200708">http://d.hatena.ne.jp/pyon3/200708</a> )	社会、経済、文芸など
ビジネス・ブック・マラソン (メルマガ)	ビジネス

## ネット書評家の実力

だ。メルマガに書くのはビジネス書や自己啓発書の書評が中心。三十、四十代のビジネスマンら一万三千人強の読者がついていて、「人に薦めたい本だけを取り上げ、内容の批判はしない」のがポリシー。「オススメ度」を星の数で表し、どういった人が読むとためになるかを示すなど、徹底して読者の視点に立って本を紹介する。

本を送っているタイヤモンド社書籍編集局第三編集部の土江英明編集長は「人気のある

これまでに紹介した本は経済書から文芸書、科学の本まで八百冊超。ITベンチャーを経営する橋本大也氏(36)が自身のブログ「情報考字」(<http://www.rimgoia.com/ote/daiya/>)に書評を書き始めたのは二〇〇三年九月のこと。徐々に読者が増え、一日当たりの閲覧件数は現在約一万。書いた文章が他のブログなどで引用されることも多く、ネット社会

で強い影響力を持つ書評家として知られる。新刊から古典まで最低でも一日一冊は読破

し、ブログは毎日更新する。書評を読んだ人がネット書店で本を購入すると手数料が入る契約をしており、年間の収入は約百二十万円にもものほ

る。書評家は読者の信頼もあつく、取り上げられると購買に結びつきやすいと語る。出版社もその影響力を販促に生かせると考えているのだ。

ロコミの力増幅

実際、ネット書評家がキャンペーンのかたちで特定の本を紹介した結果、ヒットにつながった例も出ている。五月刊行の浜口隆則著『戦わない経営』(かんき出版)は、見本本を読んだ複数のネット書評家が発刊前に内容を紹介しますとネット書店に予約が集中的に入り、発売後二週間で増刷、三万部を売り上げた。

ネット書店最大手のアマゾンでは、本を読んだ人が感想などを書き込む「カスタマーレビュー」欄がある。閲覧者による投票でレビュー(評者)はランク付けされており、優良なレビューによる書き込みは本の売れ行きも左右す



起業家の橋本大也氏は帰宅後や週末に書評を執筆している

## 夕刊文化

会社役員の松山真之助氏(53)のもとには、複数の出版社から週五、六冊の本が送られてくる。もちろん無償。松山氏の書評メールマガジン(メルマガ)「Webbook of the Day」に取り上げてもらうための献本

だ。メルマガに書くのはビジネス書や自己啓発書の書評が中心。三十、四十代のビジネスマンら一万三千人強の読者がついていて、「人に薦めたい本だけを取り上げ、内容の批判はしない」のがポリシー。「オススメ度」を星の数で表し、どういった人が読むとためになるかを示すなど、徹底して読者の視点に立って本を紹介する。

林家木久蔵さん 息子に名前譲り、木久扇に



7:30

# リポート Today's Close Up 現代



影響力を増す  
超人気ブログ



“カリスマ”登場!  
超人気ブログ



アルファブローガー

橋本 大也さん(36)

# 『情報力』

2009年1月9日発売  
翔泳社 980円

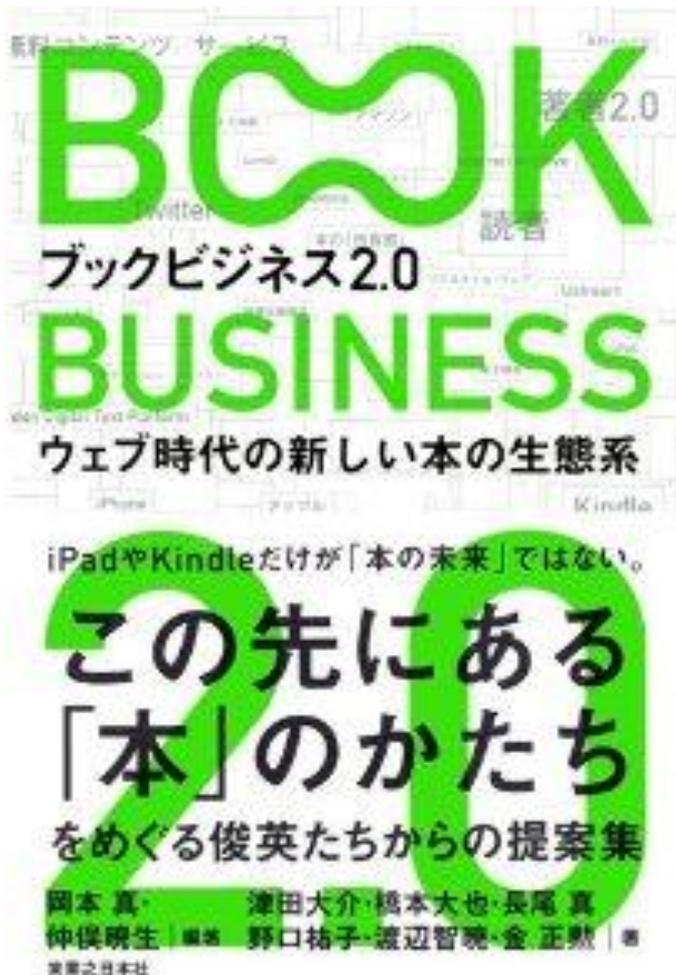
「膨大な情報や頭のもやもやをスッキリさせる」

これまでになかった「情報」を「知恵」にする技術

アタマとデジタルツールをフル活用して“ハイパー個人”



# 最近の本



# 本日の内容

第1部 12月のオススメ書籍(過去7年分)

第2部 今月のテーマ本

テーマ クリスマス

第3部 デジタル読書向上委員会

テーマ ネットで本を探す 3つのコツ #2

# 第1部 12月のおすすめ書籍

- 2003年から2010年までの12月に読んだ書籍を振り返りながら、ブックナビします。

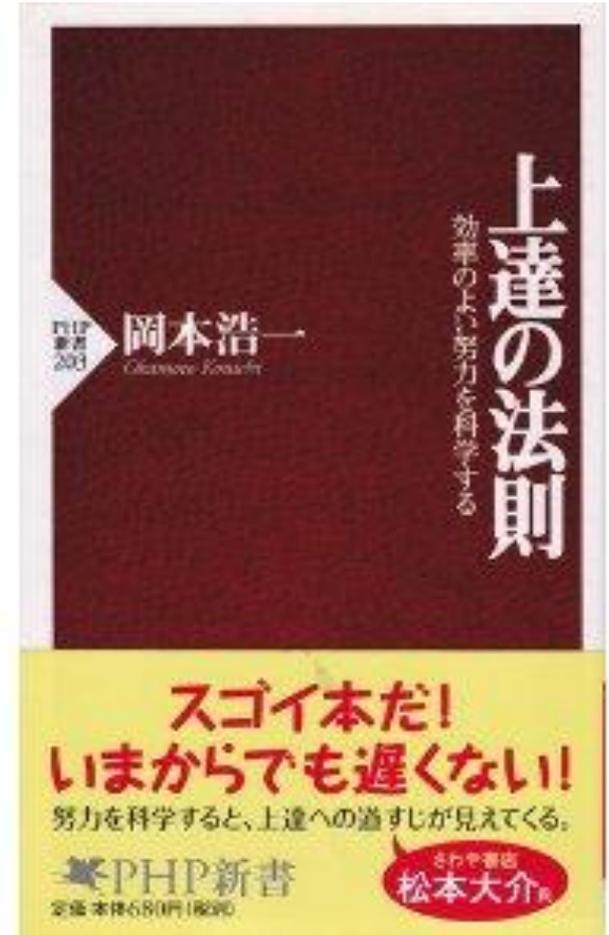
2003年12月

# 上達の法則

## 効率のよい努力を科学する

### 【上級者特有の性質】

- ・退屈しにくい、疲労しにくい
- ・「ながら」ができる
- ・移調作業ができる(ギタリストはベースも弾ける)
- ・復元仮定作業ができる(勝負後に正確に分析)
- ・コツをメタファで表現できる
- ・他者への評価が早くでき明瞭、でもすぐには表に出さない
- ・一見無関係なことからヒントを得る
- ・細部へのこだわり、美観がある
- ・上級者特有のスキーマ依存エラーを犯す



# 鉄則!企画書は「1枚」にまとめよ

パワーポイントではなくワードで一枚企画書

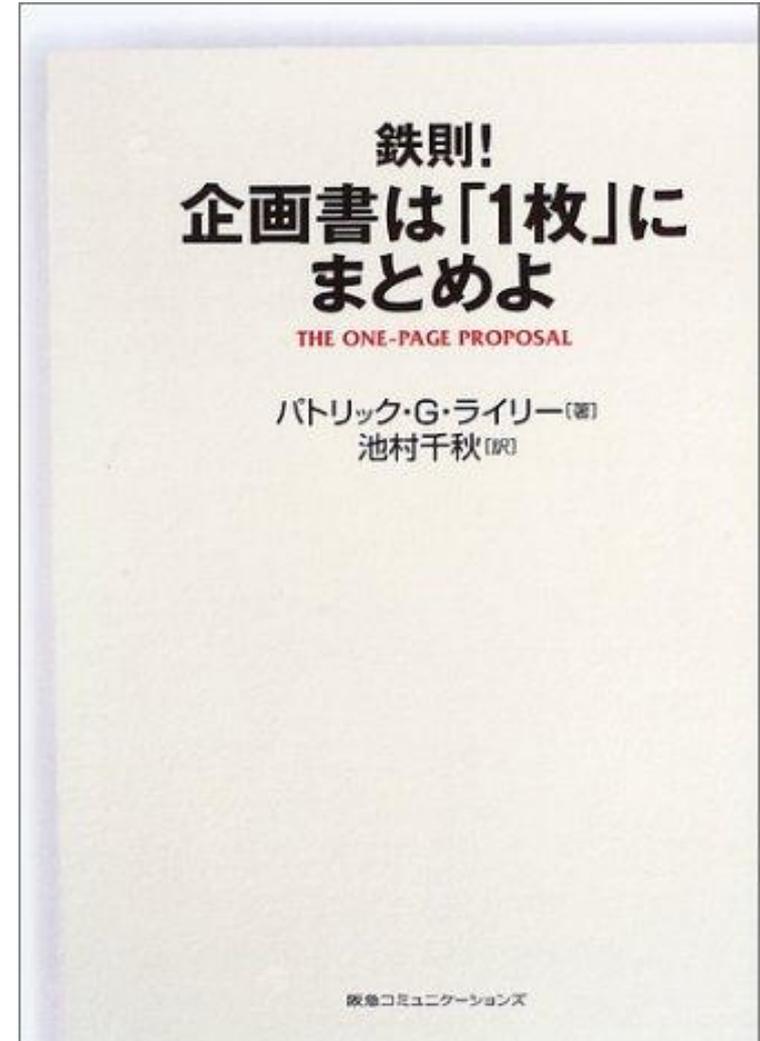
1 タイトル、2 サブタイトル、3 目的、4 サブ目的、5 理由、6 予算、7 現状、8 要望

10分程度しか与えられていない時間の中で、経営トップやVIPにイエスと言わせるノウハウ

実際に著者が使った企画書の実物が多数、使ったそのままで収録

もし古代エジプトでファラオにピラミッド建設を提案するとしたら?という想定「クフ王の大ピラミッド」企画書や、出版社に向けたこの本自体の出版必要性を説いた「1ページ企画書本」企画書

企画書は人を動かす道具である



2004年12月

# タブーの漢字学

武士の「士」、先祖の「祖」の原字は「且」。この「且」は3千年前の甲骨文字に由来し、その形は屹立する男性シンボル。では女性のシンボルの漢字は何？

18世紀の中国では「丘、玄、◆胤、弘、曆」という漢字を書くだけで死刑になった

避諱という掟。私の「大也」という名前だと私の子孫は大臣や大佐にはなれなかった？



2005年12月

# もうひとつの愛を哲学する ステイタスの不安

- ドイツのフィナンシャルタイムズ紙 年間最優秀経済書受賞作品。
- 大人の人生はすべて、二つのラブストーリーで決まる。第一は性的な愛の探求の物語。もうひとつは世間からの愛＝ステイタスの物語。他者に認められたいという思いは、組織中心の時代になって、一層、一般的で、切実なものになってきた



米国の労働者のうち、他人に雇われている人間の比率は、1800年には20%だったものが、1900年までに50%になり、2000年までに90%に達したという。500人以上の組織に所属する人間の比率は1900年には1%だったのに対して、2000年には55%に達した。大きな会社組織の中で、一定のステイタスを得たい人間が過半数を占めることになった。それは希望の裏返しとしての、ステイタスの不安に悩む人々の社会になったということでもある。

哲学、芸術、政治、宗教、ボヘミアの5つの分野で、人々がいかにオルタナティブな価値観や生活経済の基盤をつくり、ステイタスの不安を超越してきたかが、後半の主要テーマとなっている。これらの分野では大衆に認められずとも、既成の価値観に対して、批判的価値観のヒエラルキーを打ちたて、独自の社会的ピラミッドの中に生きることを選んだ人たちがいる。

# グノーシスー古代キリスト教の“異端思想”

ダビンチコード、エヴァンゲリオン、FF...

## 1 反宇宙的二元論

「まずこの世界、この宇宙は劣悪な創造神が造ったもので、この創造神は善なる至高神と対立的な関係にある」

## 2 人間の内部に「神的火花」「本来的自己」が存在するという確信

「人間は創造神の造ったものであるが、その中に、至高神に由来する要素がわずかだけ閉じこめられている」

## 3 人間に自己の本質を認識させる救済啓示者の存在

「人間はそのことに気付かないでいるが、至高神から使いがやってきて、人間に自分の本質を認識せよと促す」



# 暗号解読

## ロゼッタストーンから量子暗号まで

「暗号学はきわめて異色の科学である。プロの科学者の大半は、誰よりも先に仕事を発表しようとする。なぜなら彼らの仕事は、広められてはじめて真価を発揮するからである。それに対して暗号の研究は、情報が漏れる可能性を最小限にとどめてこそ、最大限にその価値を発揮する。そのためプロの暗号研究者は、仕事の成果が外部に漏れないように秘密を守り、閉ざされた世界の中で仕事をしつつ、仕事の質を高めるための交流を行うことになる。暗号に関する秘密を公開することが許されるのは、秘密にしてもこれ以上利益はないことが明らかになった後、ただ歴史的正確さを期すためでしかないのである」



2006年12月

# テヘランでロリータを読む

1950年生まれ、イラン出身の女性英文学者  
アーザル・ナフィーシーの回想録。全米150万  
部のベストセラー。戦時のイランで禁じられた  
書物の読書会を開く。

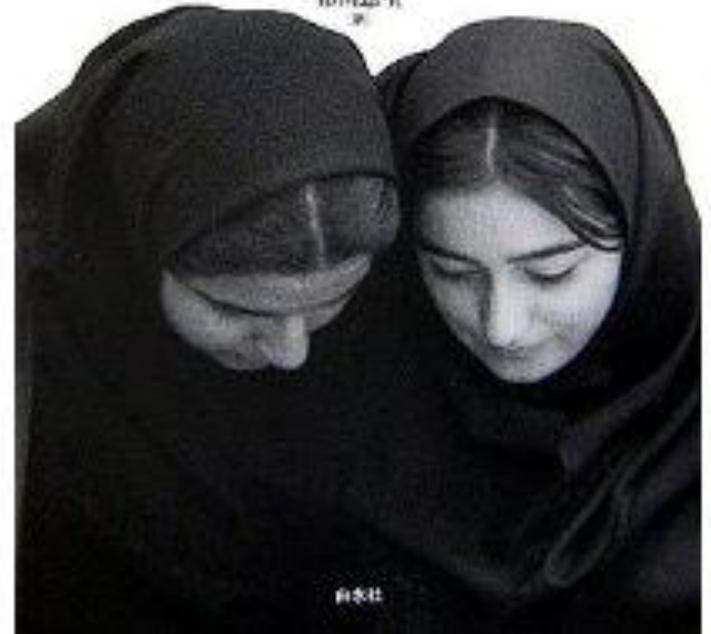
「好奇心はもっとも純粋な私たちの不服従で  
ある」

テヘランの読書会の参加者たちに、文学作品  
や文芸批評が生きる力を与えている。「どんな  
ことがあっても、フィクションを現実の複製とし  
て見なすようなまねをして、フィクションを貶め  
てはならない。私たちがフィクションの中に求  
めるのは、現実ではなくむしろ真実があらわに  
なる瞬間である」と著者はくちぐせのように話  
す。

テヘランで  
ロリータを読む  
READING LOLITA IN TEHRAN

アーザル・ナフィーシー

市川恵理  
訳

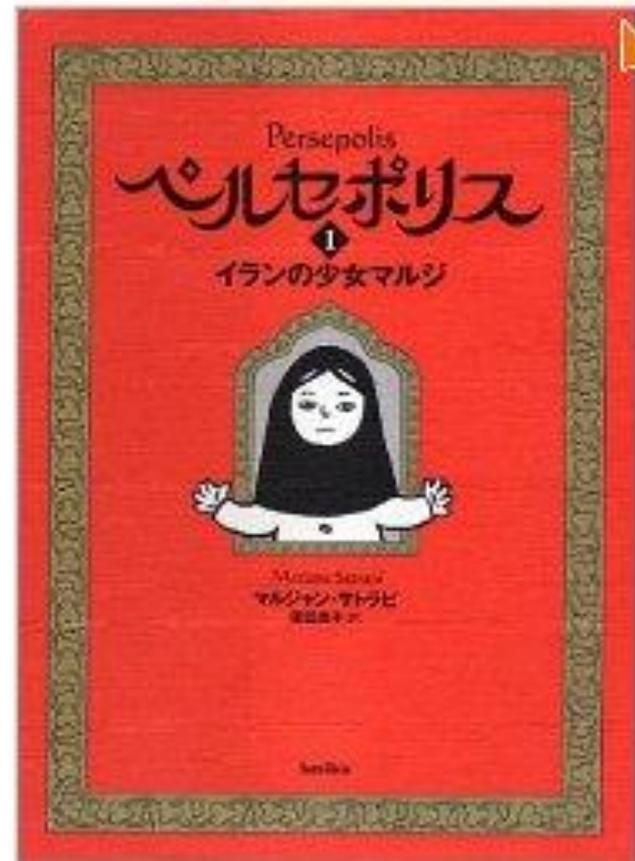


# ペルセポリス I イランの少女マルジ

1979年のイランのイスラーム革命とイラン・イラク戦争という激動の時代を、テヘランに暮らす少女マルジ(6歳から14歳まで)の視点で描いた漫画。著者の自伝である。

マルジは次第に宗教色が強められていく革命情勢下にあって、反対デモに参加する進歩的思想を持った両親の下で育てられている。当時のイラン女性としては珍しく欧米風な考え方を身につけていった。

クリック なか見! 検索



映画化されて2007年カンヌ映画祭審査員賞受賞映画

2007年12月

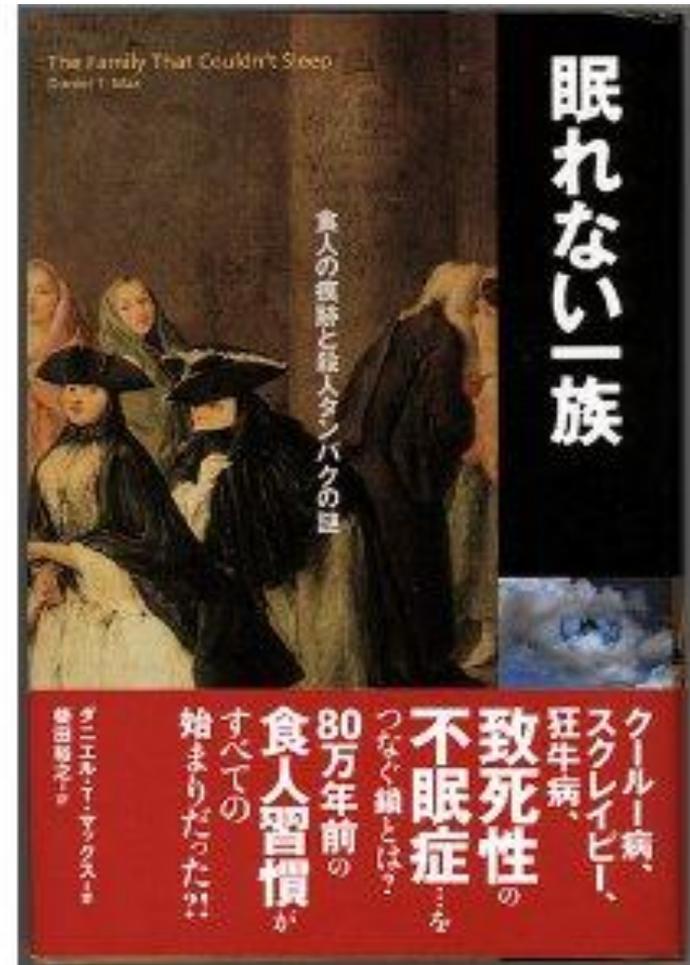
# 眠れない一族

## 食人の痕跡と殺人タンパクの謎

ノンフィクションだがミステリー小説のような趣もある第一級の医療ドキュメンタリ。

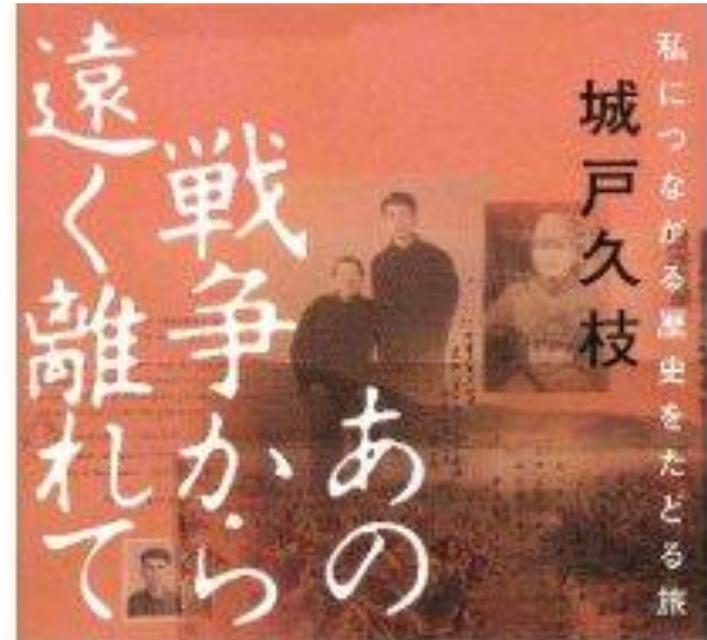
イタリアの高貴な一族が18世紀から現在まで原因不明の奇病に悩まされていた。**50歳を過ぎたくらいになると、一族の中の何人かが異常な発汗と瞳孔縮小という症状を発症し、重度の不眠症になって死んでしまうのだ。**遺伝性がある病気だったが、医師たちは長い間、ウィルスや遺伝子などの原因を特定することができなかった。

本書ではその原因は原始人類が八十万年前に行った人肉食にあったのではないかという仮説が提示される



# あの戦争から遠く離れて 私につながる歴史をたどる旅

著者の城戸久枝は「1976年日本生まれ、日本育ちの」中国残留孤児2世。2世とはいっても「ただの日本人」である彼女は、自分のルーツ探しとして父親の中国での足跡をたどる旅に出た。戦争によって大陸に取り残され、中国人として生き、苦難の末に帰国した父親の物語。



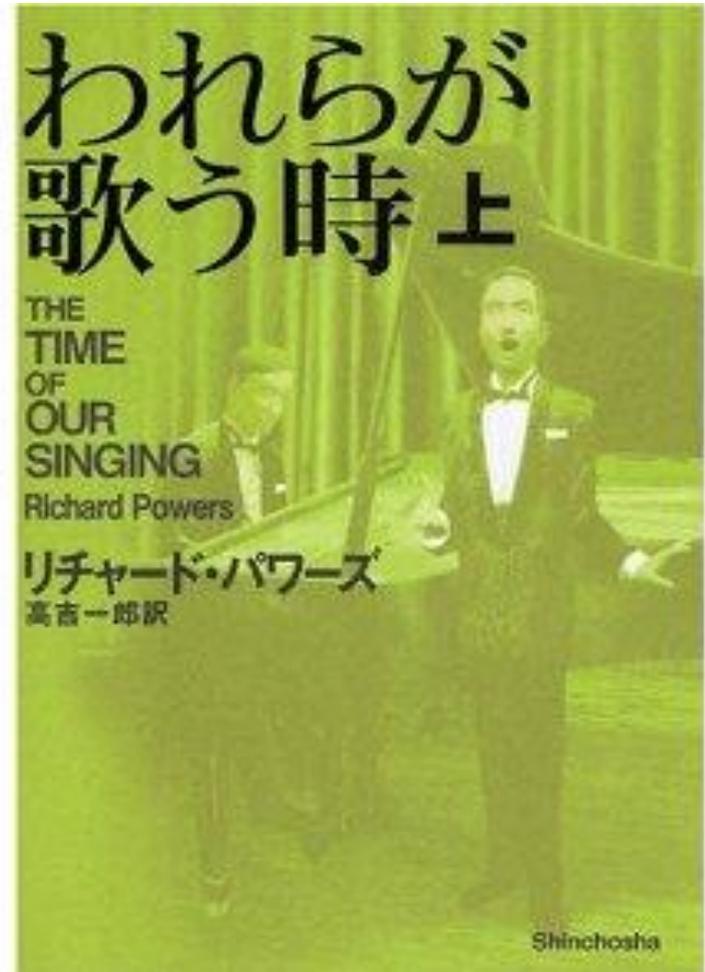
2008年12月

# われらが歌う時

20世紀前半、人種差別の激しいアメリカで黒人歌手のディーリアとユダヤ系ドイツ人で亡命物理学者のデイヴィッドが恋に落ち、二人の間には3人の混血児が誕生した。

家族は歌を愛し毎晩のように楽曲をごちゃまぜにして合唱する遊び「クレージー引用合戦」を楽しんだ。外の世界には差別と迫害の嵐が吹き荒れていたが、家族は家の中で多声が調和する音楽の世界に浸って厳しい現実をやり過ごす日々。

黒人とユダヤ人の混血家族が黒人と白人、敵と味方という二元論の時代をなんとか生き延び、孫達の世代がハイブリッドでポリフォニックな未来を予感するまでの家系の歴史である。



# 人は意外に合理的

## 新しい経済学で日常生活を読み解く

「たとえば男性は太りすぎていない女性を好む。そうだとするとある夜のスピードデートに太りすぎの女性がいつもの数の二倍参加したら、その夜はデートを申し込む男性が少なくなるはずだ。ところがそうはいかない。男性陣がデートを申し込む割合はまったく変わらないのである。そのため、太りすぎの女性が二倍居ると、デートに誘われる太りすぎの女性も二倍になる。」

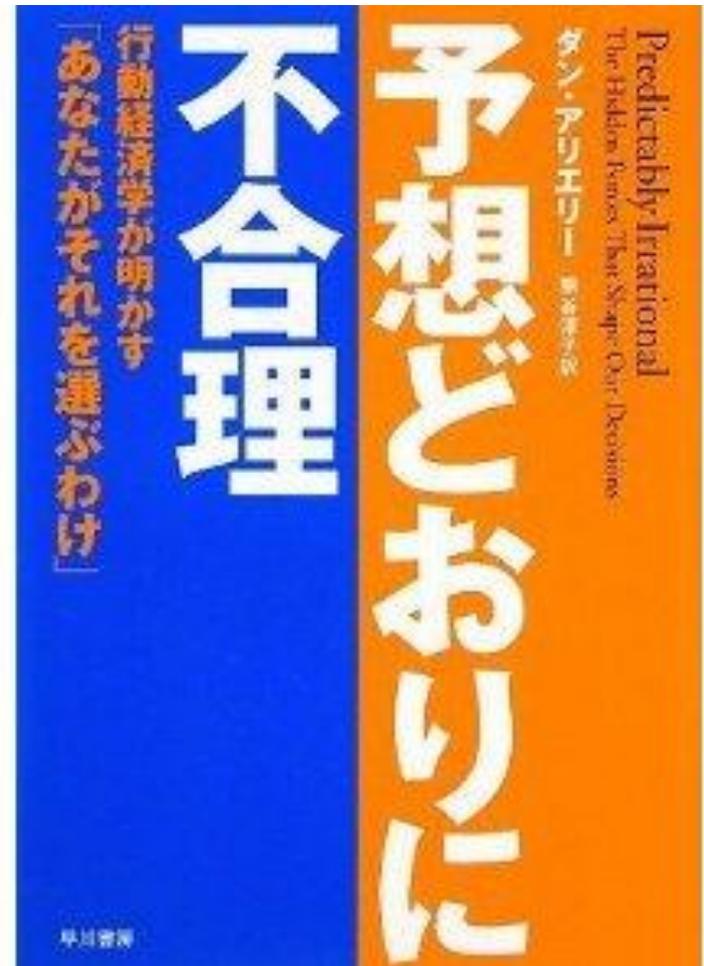


# 予想どおりに不合理

値の張るアントレをメニューに載せると、それを注文する人がいなくても、レストラン全体の収入が増える。5000円と3000円のコースが2つだけしかなければ安い3000円が売れるが、8000円のコースを加えると5000円を選ぶ人が増えるからである。メニューの作り方だけで消費者行動を操る実例がいくつも示されている。

弁護士の集団に1時間あたり30ドルで困窮している退職者の相談に乗る仕事を依頼するとほとんどの弁護士に断られた。しかし無報酬ならば話に乗る弁護士が多数現れた社会規範と市場規範。

価格が支払った金額が高い薬ほどよく効くという実験も人間の身体に経済心理学が組み込まれていることの証。無料は単なる値引き以上の効果があること、性的興奮時は選択オプションに大胆になる。



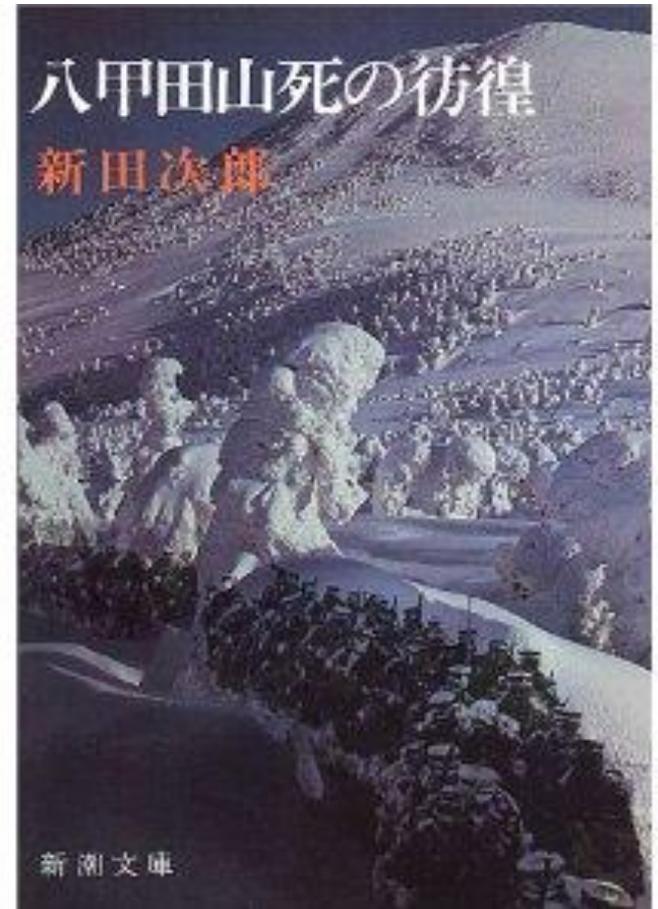
# 八甲田山死の彷徨

日露戦争前夜の1902年に起きた八甲田雪中行軍遭難事件を題材にした新田次郎の小説。映画化もされた。日本陸軍の冬季訓練中に参加者210人のうち199人が死亡した日本の登山史上で最悪の遭難事件である。

現実の八甲田山の遭難での階級別の生存者率は以下の通りだった。服従した兵卒達が圧倒的に高い割合で死んでいる。

准士官以上(16人)の生存者数	5人に1人
下士官(38人)の生存者数	13人に1人
兵卒(156人)の生存者の割合	31人に1人

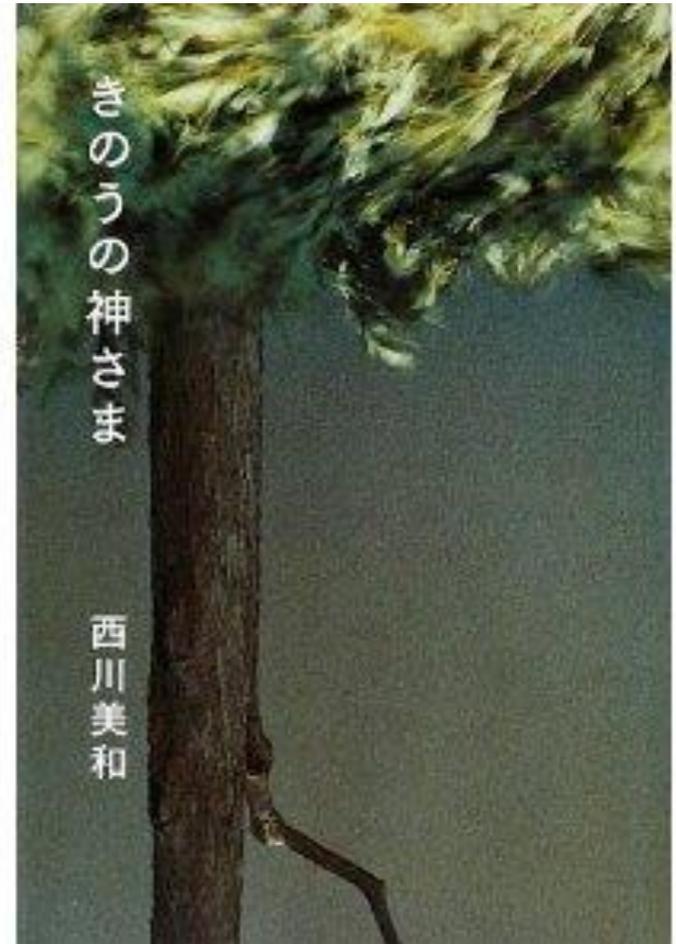
真冬の八甲田山も怖ろしいが、200人の大部分を殺したのは明らかに人間の組織であったように思える。



2009年12月

# 昨日の神様

映画『ディアドクター』原作  
西川美和の才能に注目

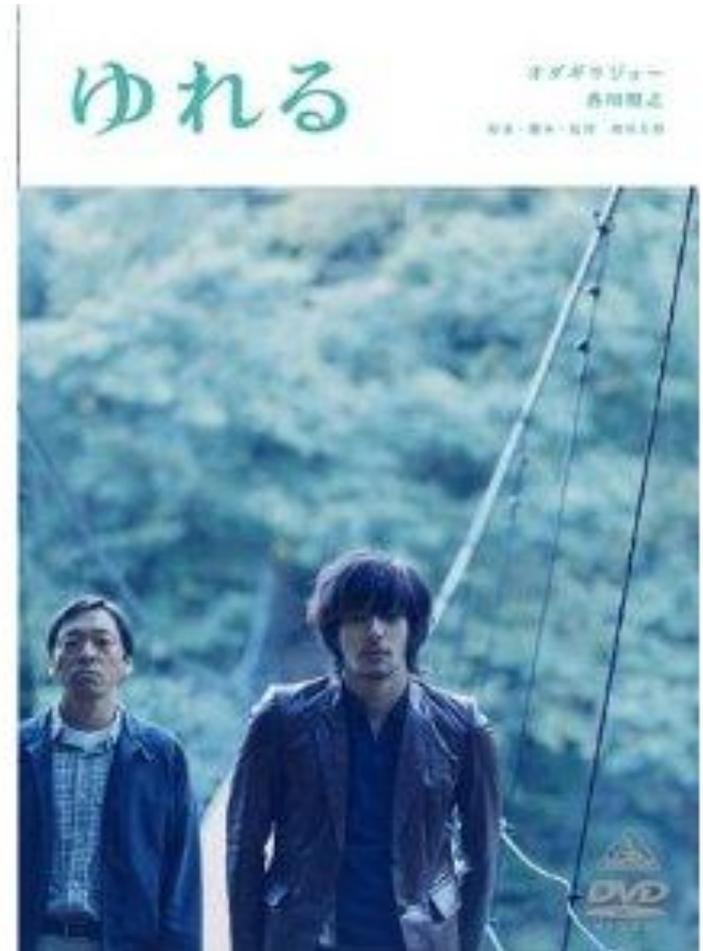


# おすすめ 映画『ゆれる』

久しぶりに故郷へ帰ったカメラマン（オダギリジョー）は、兄と一緒に幼なじみの千恵子と峡谷へドライブする。

兄と千恵子が二人で吊橋を渡ったときに千恵子が転落死してしまう。これは事故なのか殺人なのか？

揺れる吊橋のようにゆれる関係者の心。手に汗握るサスペンスであり、心揺り動かされる人間ドラマ。

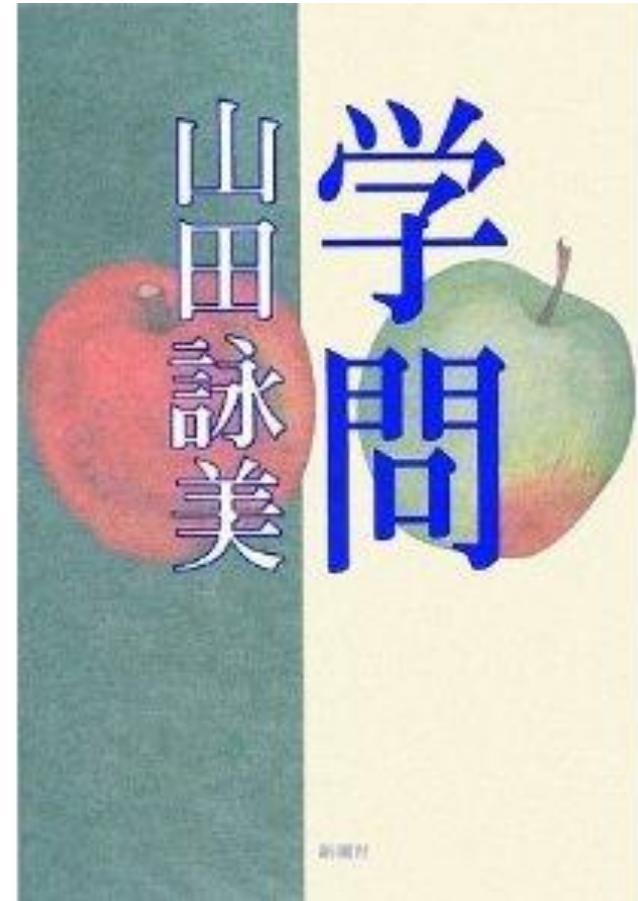


# 学問

東京から引っ越してきた仁美、包容力のあるリーダー格の心太、食べ物に目がない無量、眠ることが好きな千穂。仲良し少年少女4人組が海辺の平和な町で過ごした小学校から高校までの日々が語られる。

テーマは性と生だが、本質はまっすぐな青春小説。

「まったくセックスというやつは、どれほど多くの枝葉を携えているものなのでしょう。幸せに喜ばせ合う夜もあれば、怒りを噴出させる昼もある。神聖な儀式にも、しこしこの鍛錬にも配属される。まったく、油断も隙もありやしない」



# さあ、才能(じぶん)に目覚めよう あなたの5つの強みを見出し、活かす

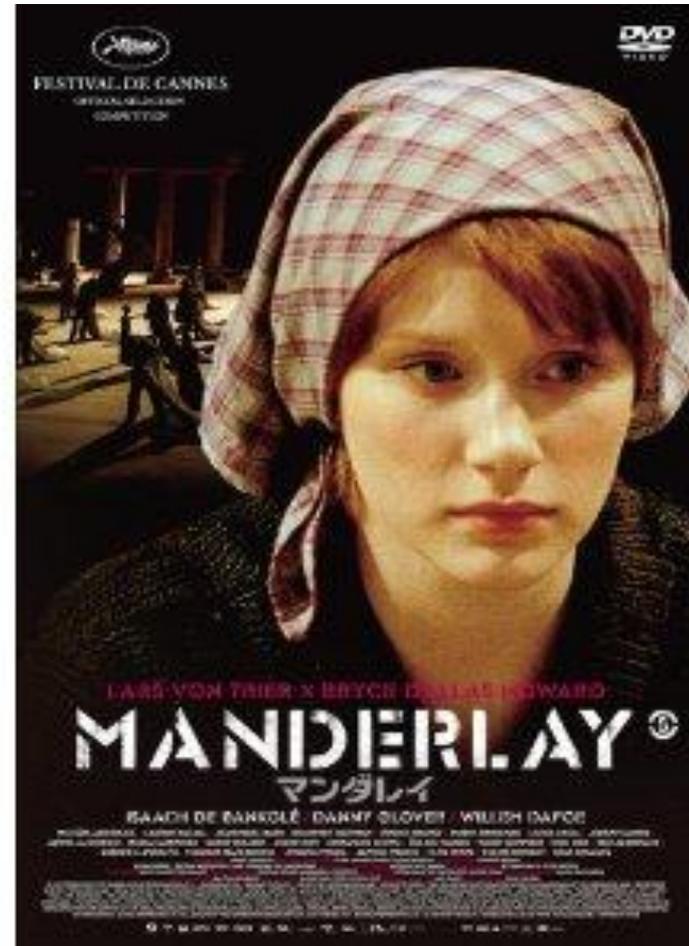
本は読まなくていいのです。1冊にひとつ付属するIDを使ってWeb上のテスト「ストレングスファインダー」を受験してください。180問の質問に答えるとそれぞれの強みが5つわかるというものです。書籍はその説明書にすぎません。

数十万人のビジネスパーソンに対する調査データから、受験者の生来の資質を指摘するというもの。自分の美点を5つみつけてもらえます。そしてその美点がいかに素晴らしいものであるかを説明してくれます。読んでいてうれしくなります。



2010年12月

# 映画『ドッグヴィル』『マンダレイ』



<http://www.youtube.com/watch?v=aDH1n5cR1XM&feature=related>

# 第2部 今月のテーマ本

## クリスマス

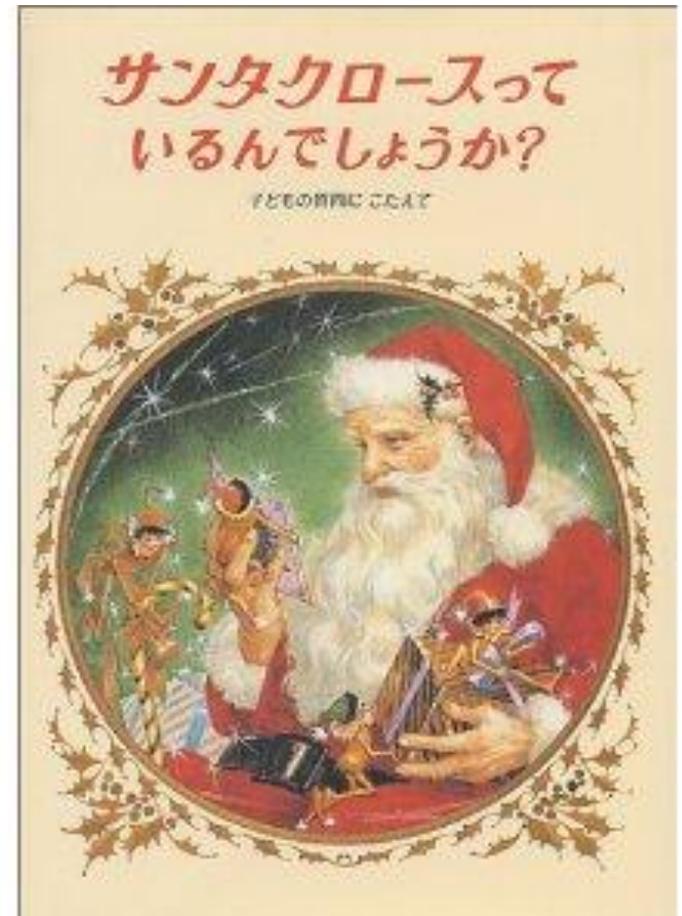
- クリスマスキャロル

- [http://www.ringolab.com/note/daiya/2010/12/di\\_sneys.html](http://www.ringolab.com/note/daiya/2010/12/di_sneys.html)

# サンタクロースっているんでしょうか？

編集者さま: 私は8歳です。  
私の何人かの友だちはサンタクロースはいないと言います。  
パパは「サン新聞が言うことならそのとおりだ」と言います。  
どうか私に本当のことを教えてください; サンタクロースはいるの  
んでしょうか?

ヴァージニア・オハンロン 115  
西95番街



1897年9月21日、アメリカ合衆国の新聞、ニューヨーク・サンに掲載された社説。8歳の少女が同新聞社にこの質問をし、同社の記者フランシス・チャーチによって執筆された。



## Is There a Santa Claus?

We take pleasure in answering at once and thus prominently the communication below, expressing at the same time our great gratification that its faithful author is numbered among the friends of THE SUN:

- DEAR EDITOR: I am 8 years old.

- Some of my little friends say there is no Santa Claus.

- Papa says "If you see it in THE SUN it's so."

- Please tell me the truth: is there a Santa Claus?

" VIRGINIA O'HANLON.

" 115 WEST NINETY-FIFTH STREET."

VIRGINIA, your little friends are wrong. They have been affected by the skepticism of a skeptical age. They do not believe except they see. They think that nothing can be which is not comprehensible by their little minds. All minds, VIRGINIA, whether they be men's or children's, are little. In this great universe of ours man is a mere insect, an ant, in his intellect, as compared with the boundless world about him, as measured by the intelligence capable of grasping the whole of truth and

**“Yes, Virginia, There is a Santa Claus”**

ity and devotion exist, and you know that they abound and give to your life its highest beauty and joy. Alas! how dreary would be the world if there were no Santa

青空文庫に翻訳

<http://www.aozora.gr.jp/cards/001237/card46346.html>

じつはね、ヴァージニア、サンタクロースはいるんだ。愛とか思いやりとかいたわりとかがちゃんとあるように、サンタクロースもちゃんというし、愛もサンタクロースも、ぼくらにかがやきをあたえてくれる。もしサンタクロースがいなかったら、ものすごくさみしい世の中になってしまう。ヴァージニアみたいな子がこの世にいなくなるくらい、ものすごくさみしいことなんだ。サンタクロースがいなかったら、むじゃきな子どもの心も、詩のたのしむ心も、人を好きって思う心も、ぜんぶなくなってしまう。

みんな、何を見たっておもしろくなくなるだろうし、世界をたのしくしてくれる子どもたちの笑顔も、きえてなくなってしまうだろう。

あのガラガラっておもちゃ、中をあければ、玉が音をならしてることがわかるよね。でも、ふしぎな世界には、どんな強い人でも、どんな強い人がたばになってかかっても、こじあけることのできないカーテンみたいなものがあるんだ。

むじゃきな心とか、詩をたのしむ心、愛とか、人を好きになる心だけが、そのカーテンをあけることができ、ものすごくきれいでかっこいい世界を見たり、えがいたりすることができるんだ。

うそじゃないかって？ ヴァージニア、これだけはいえる、いつでも、どこでも、ほんとうのことだって。

# 第3部 デジタル読書向上委員会

## テーマ: ネットで本を探す 3つのコツ #2

# 【1】Twitterのつぶやきから リコメンド

- Recobot
  - <http://twitter.com/#!/recobot>

## 【2】文学賞で探す

- 文学賞ドットコム
  - <http://bungakusyo.com/>
- R-18文学賞
  - <http://www.shinchosha.co.jp/r18/>

## 【3】Q & Aサイトで探す

世界一厚い本 最もページ数の多い本はなん  
でしょうか。

その本が紹介されているオンライン書店や情報  
のあるページのURLを教えてください。最大ペー  
ジ数の本をご紹介いただいた方には高いポイ  
ントを差し上げたいと思います。よろしく願い  
いたします。

<http://q.hatena.ne.jp/1092322434>

2010年のベスト本を一冊だけ教えてください。書名とできるかぎりアマゾンへのリンクもお願いします。

<http://q.hatena.ne.jp/1291177544>

ネガティブなタイトルの書籍を教えてください。AmazonなどのECサイトへのリンクを一緒にお願いします。たとえば「下を向いて生きよう。」「他人と深く関わらずに生きるには」「部下は育てるな! 取り替える!!」「これだけは知っておきたいダメ社員の辞めさせ方」「ネガティブのすすめープラス思考にうんざりしているあなたへ」「お客には絶対に謝るな!」のようなタイトルの本です。

<http://q.hatena.ne.jp/1216972379>